

インフォメーションディスプレイ Vol.20



富士フイルム株式会社
宣伝部
吉村 絵梨香 様



富士フイルム プレゼンテック株式会社
営業部 営業グループ課長
鹿島 勇 様

富士フイルム株式会社 様

イメージング分野のリーディングカンパニー、富士フイルム株式会社様は、富士ゼロックス、富士フイルムホールディングスとともに、2007年3月、東京ミッドタウンの新社に集結。同時に開設された1階・2階の「FUJIFILM SQUARE」は、フォトギャラリー、カフェ&イベントスペースなどを擁する情報発信ゾーンです。



FUJIFILM SQUARE: 東京都港区赤坂 <http://fujifilmsquare.jp>
(フジフイルム スクエア)

魅せる・伝わる最高画質のその先に、 次世代の“イメージング”が見えてきます。

PN-655×4台
PN-455×4台

※本社オフィス内にも
テレビ会議用の
『PN-655』を5台導入

2007年春、東京ミッドタウンにオープンした「FUJIFILM SQUARE」は、写真の“いま”と“これから”を見て、感じることができる“写真文化”の殿堂。ショールームの枠を超えたアートスポットでもあります。

この日、ギャラリー「PHOTO IS」では、世界的な航空写真家ヤン・アルテュス＝ベルトラン氏の写真展を開催。“空から見た地球”のファンタジックな姿を堪能したお客様は、併設の「PHOTO CAFE」でほっと一息。開放的な空間のリラックス感を高めているのが、4面マルチの『PN-655』に映し出されるスライドショーです。

「ギャラリーの企画展と連動するプロモーション映像を上映したり、大勢のお客様が集まるイベントでも活用していますが、通常は、ゆっくり寛いでいただけるよう、ヒーリング系の映像を流しています。なにより、プロジェクターともプラズマとも違う“写真に近い画質”で観てもらえるのがいいですね。」

心に響く写真の力と最先端のデジタルイメージングの融合が、そこにはあります。



1F「PHOTO CAFE & イベントスペース」
映像や写真集を見ながらコーヒーブレイク。さまざまなイベントもここで行われる。『PN-655』を4台組み合わせたマルチディスプレイは圧巻。



1F 写真ギャラリー「PHOTO IS」

毎月さまざまな企画展を実施。1階ではこの他に、写真作品を高画質プリントで販売する「フォトマルシェ」、デジタルカメラなどの新製品に触れられる「Touch FUJIFILM」、新開発の基礎化粧品・サプリメントを提案する「FUJIFILM ヘルスクエア ラボ」などを展開。

導入時の評価ポイント

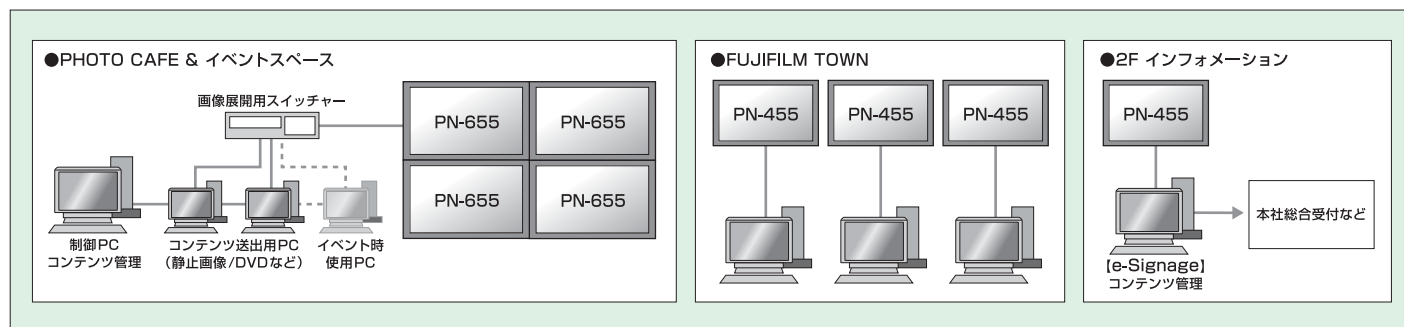
写真に近い質感・立体感を再現できる
フルスペックハイビジョン

映り込みがなく見やすい
ASV低反射ブラックTFT液晶

最先端のアートスポットにマッチした
薄型・スタイリッシュデザイン

複数台の組み合わせでダイナミックな演出ができる
マルチモニター機能

■ システム概略図



導入の経緯

普及広報活動の2つのテーマが
そのまま導入検討の焦点でした。

「FUJIFILM SQUARE」第一のテーマは、「写真文化」を広めること。この場でディスプレイに求められるのは、光も色も限りなく写真に近い表現力、すなわち画像を忠実に再現することです。「導入の決め手になったのは「再現性」です。映り込みがない。まぶしさもない。階調の幅が広く色彩表現も豊か。いろいろなディスプレイを総合的に評価し、「写真画質」で映像を鑑賞してもらえるディスプレイとしてインフォメーションディスプレイを採用しました。また、そもそも

導入のきっかけになったのは、弊社が液晶ディスプレイの性能に深く関わっている「フィルム」をご提供していることでした。」
実は、「光をまっすぐに透過するフィルム」は液晶ディスプレイにとって非常に重要なパーツ。富士フィルムの独自技術から誕生したフィルムがシャープの製品に提供され、美しい映像を内側から支えているのです。このような富士フィルムの事業内容の紹介が、「FUJIFILM SQUARE」のもうひとつのテーマです。



1F コントロールルーム

専用ソフトでマルチ表示をオートコントロール。単画面表示と拡大(エンラージ)表示の切り替えも自由自在。ソースはPC、DVDなど3系統の外部入力から。

導入後の感想

“Quality of life”の向上を
その目で実感してもらいたい。

富士フィルムの多彩な技術・サービスを紹介する「FUJIFILM TOWN」というコーナーでも、3台の『PN-455』が1役買っています。お客様はここで、解説映像やTVCMなどを自由に閲覧し、富士フィルムのさまざまな顔を知ることになります。「たとえば、生ビールの酵母を濾過する多孔質フィルターは、おいしい一杯の裏にある画期的

な技術。さらに、マンモグラフィなどのメディカルシステム、スキンケアやサプリメントなどのヘルスケア製品と、分野をまたいで広がる技術や普段目にする事のない業務用製品を知って、驚かれる方も多いようです。」
そして、いま目の前にある液晶ディスプレイの中にも、富士フィルムならではの先進技術が。「このきれいな映像が技術の証。実際にご覧



1F「FUJIFILM TOWN」

身近なシーンの中に潜む、知る人ぞ知る富士フィルムの技術・サービスを映像で紹介。『PN-455』の映像は1台ごとにPCで管理されている。

「いただいて、これからのイメージングに対する期待が高まってくればうれしいですね。」
ここでは、液晶ディスプレイは未来の“Quality of life”を映す窓なのかもしれません。

今後の展開予定

優れた映像表現を活かせる
クオリティの高いコンテンツを。

オープン以来、客足の途絶えることのない「FUJIFILM SQUARE」。季節や天候にもよりますが、最近では平日で2,000人、休日で3,000人程度の来場者で賑わいます。「集客は順調です。でも、映像の活用はまだ実験段階。マルチディスプレイの使い方もしろいろ試したいところですし、コンテンツの充実も課題です。いい写真をいい環境で体感して

もらい“写真文化”の価値と可能性を知ってもらうために、私たちの活動に賛同していただける作家の輪を広げ、最高品質の映像で紹介していきたいと考えています。」
写真は生活の一部であり、アートであり、なくてはならない文化。その文化をますます発展させたいという想いは、次の時代が望む“イメージング”の実現につながっています。



2階の「富士フィルムフォトサロン」[FUJIFILM PHOTO MUSEUM]を結びインフォメーションコーナーの『PN-455』。[e-Signage]を使ってコンテンツを配信している。

●お問い合わせは

シャープ株式会社

情報通信事業本部 ビジネスソリューション事業部
電話：(03)3260-8217 / (0743)55-6373

2007年7月発行